

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 446番
- *交読文 39番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 9番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 457番
- メッセージ レメクとセツ - 神抜きで生きる子孫と、主を呼ぶ子孫(創世記 4:19-24)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 456番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

主を求めよ。お会いできる間に。近くにおられるうちに、呼び求めよ。___はおのれの道を捨て、不法者はおのれのはかりごとを捨て去れ。主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる。神に帰れ。豊かに赦してくださるから。
 「わたしの思いは、___の思いと異なり、わたしの道は、___の道と異なるからだ。
 ——主の御告げ。—— 天が地よりも高いように、わたしの道は、___の道よりも高く、わたしの思いは、___の思いよりも高い。雨や雪が天から降ってもとに戻らず、必ず地を潤し、それに物を生えさせ、芽を出させ、種蒔く者には種を与え、食べる者にはパンを与える。そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。(イザヤ 55:6-11)

神は、カインが犯した殺人と傲慢の罪に対し、彼が示した、僅かばかりの悔いる心に、憐れみで応え、誰もカインを撃つことのないようにと、しるしを与えて下さった。
 彼は、その後、主の前から(KIV:主の臨在から)去って、町(城)を建てて住み、その町の名は、自分の子の名にちなんだ名をつけ、そうして子孫を産んで行った。
 カインの来孫(らいそん)にあたるレメクは、二人の妻をめぐり、家畜を飼う者の先祖・ヤバル、笛と堅琴を巧みに奏する者の先祖・ユバル、青銅と鉄のあらゆる用具の鍛冶屋の先祖・トバル・カインとを産んだ。
 地が呪われ、農耕ができなくなってしまったカインは、城を建て、結束し、その子孫たちは畜産や芸術、技術などの文明を発達させた。神に頼るのではなく、人々を結束させ、その力に頼って生きるようになった。しかしそれは、アダムの以来の「いちじくの葉」の進化形に過ぎず、自分の裸を覆うための取り繕いに過ぎない。このいちじくの葉は、代を降るごとに発展し、鎧となり、城壁となり、兵器となって行く。神抜きの必要の満ちし、神抜きの娯楽や慰め、神から離れたテクノロジーの発達は、代を降って行くごとに暴虐さ邪悪さが増し加わって行くのだ。

カインの子孫は、代を重ねるごとに、どのような価値観を培ってきたのか。レメクの言葉から見る事が出来る。『レメクはその妻たちに言った、「アダとチラよ、わたしの声を聞け、レメクの妻たちよ、わたしの言葉に耳を傾けよ。わたしは受ける傷のために、人を殺し、受ける打ち傷のために、わたしは若者を殺す。カインのための復讐が七倍ならば、レメクのための復讐は七十七倍。』(創世記 4:23-24)
カインを殺す者には七倍の復讐、だったのに、レメクの代では、それが七十七倍に増加している。
 少しでも傷を受けたなら、相手を殺す。しかも、その事を妻たちに誇らしげに自慢している。
 集結し、城を建ててそこに住み、文明を発達させ、やられたら倍返しする。まるでマフィア同じ性質だ。
 神はなぜカインを生かし、カインを殺す者には7倍の復讐を受けるようにされたのか。それは、神の彼に対する憐れみであって、決して倍返しの爽快感を彼に味わわせるためではないし、誇らせるためではない。それなのに彼は、神様が与えて下さった憐れみを、悪用し、自分のため、人を脅すために用いた。
 このように、やられたら何倍にもして返す生き方、共に結束し、力を合わせて文明を発達させる生き方を続けて行くと、やがて地は墮落し、暴虐に満ちて行き、神が心痛めるまでになるのである。(6章)
 カインのような者は、すぐにでも滅ぼせば良かったのに、と人は思うかもしれない。しかし、もし神がそのようなお方だったとしたら、人は誰も残っていなかっただろう。
 神は、忍耐と赦しに富みたまうお方だからこそ、私達は救われたのだ。

神は、主を呼び求める子孫、すなわち、神と共に歩む子孫をも、備えて下さる。(創世記 4:25-26)
 カインとは別の、アダムとエバの子「セツ(約束された、倍賞)」の子孫は、主の御名を呼ぶ事をはじめた。
 エバに約束された、サタンの頭を踏み砕く「女の子孫」は、彼の系列から生まれる。
 世の中がいかにも不信仰に満ちようと、主は、残された民を備えておられるのだ。

私達はカインとセツのうち、属するとしたらどちらに所属して生きたいだろうか？
 キリスト者なら「セツ」と答えるのが模範的だろうが、本当にそうだろうか。別の観点から質問しよう。
 城を建て、その中で結束して住み、肉を食べ、スタイリッシュな音楽を聞き、発達したテクノロジーの恩恵に与り、力と知恵を集結して文化を発展させ、やられたら7倍返しができる。けれども、神様からは離れた価値観で生きている集団と、そのような神を知らぬ集団からは離れ、主の御名を呼び、主と共に歩む集団。
 一体どちらに所属して生きたいだろうか？クリスチャンの中には、「セツの道を選びます」と口先で言いながら、実はカインの道に憧れて、そちらの集団で生きている者は、意外と多いのではないだろうか。
 カインの子孫は、やがて水で滅ぼし尽くされ、カインの子孫と結合した神の子達も、同じ運命をたどる。
 それは現代を生きる私達も、同じである。
 私たちは、主に呼び出された者達、エクレシア(教会)である。私達は主キリストから呼び出されているからには、主の御名を呼ぶ事をやめてはならない。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語通訳有) 10:30
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝 14:00
聖書の学び会(伝道者の書) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト